

平塚市岡崎地区コミュニティタクシー実証実験の実施状況

1 実証実験の経緯

平塚市北部にある岡崎地区は主に西部および南部に交通空白地域があるほか、地区内は坂道が多いため、高齢者を中心に徒歩や自転車による移動が負担となっています。

本実証実験は、日常の買い物を主な目的とした移動を支援する取り組みです。実証実験にあたり設立された地域団体「平塚市岡崎地区コミュニティ交通運営協議会」が、市の委託を受けて運行の企画・調整を行い、神田交通株式会社が運行を担っています。

2 実証実験(令和8年度 第1期)の状況

(1) 利用者数

運行 ライン	主な経由地	5/25 (月)	6/5 (金)	6/15 (月)	6/25 (木)	7/6 (月)	7/15 (水)	平均乗車率
Aライン (1日計2便)	岡崎市民農園北・ 岡崎公民館・ 矢崎自治会館	12	5	9	11	4	10	70.8%
Bライン (1日計2便)	ふじみ野第一公園・ 岡崎郵便局・ 大畑自治会館	12	10	12	12	11	9	91.7%
お帰り ライン (1日計4便)	ヨークタウン北金目⇒ 岡崎地区内の自宅等	21	15	21	23	15	18	78.5%
延べ利用人数(Cライン除く)		45	30	42	46	30	37	79.9%
Cライン (1日計3便)	岡崎地区内循環便	0	0	0	0	0	2	—

- 1車両の定員は、6人です。
- 期間内の A ライン・B ライン・お帰りラインの平均乗車率は、**79.9%**でした。
- 第1期の延べ利用人数は**232人**でした。

(2) 運賃収入と運行経費

- 運行経費 206,500 円 運賃収入 78,540 円
- 運行経費 — 運賃収入 = 127,960 円
- 運賃収入が運行経費に占める割合は、**38.0%(市負担率:62.0%)**でした。

3 平塚市岡崎地区コミュニティ交通運営協議会

令和8年3月設立、会長・川口一正氏。岡崎地区コミュニティタクシーの運行に必要な事務及び利用促進活動を行う。運営委員14名(地域団体等から推薦)、顧問2名(地区公民館長、高齢者よろず相談センター職員)で構成。

(裏面へ続く)

4 利用説明会の実施

実証実験に先立ち、岡崎地区内の各自治会館で説明会を10回開催し、のべ147人が出席しました。また、平塚市岡崎地区コミュニティタクシー利用ガイド(資料3-1)を配布いたしました。

5 実証実験出発式の様子

5月25日(月曜日)に岡崎公民館で出発式を開催し、落合市長をはじめ計32名が出席しました。

【出発式の様子】



6 利用者からの声(利用者アンケートから一部抜粋)

- 自宅近くから乗れて、自宅前で降りられるので良い。
- 荷物があるので家まで送っていただけてとても良かったです。
- ゆっくりお買い物が出来ました。お茶・食事などをする店もあり、安価で良かったです。
- 買い物した荷物があるため、乗り遅れない為に屋上で待つ間、帰りのタクシー乗り場にベンチがあると良いと思いました。
- 予約の仕方が面倒に思いました。
- 現金ではなく、チケット方式がいい。
- Cラインについては、乗り場について、あまり利用がないと思われる。地域を拡大してほしい。

7 第2期実証実験の予定

- 9月～10月にかけて実施
- A・Bライン、お帰りの実施日と、Cラインの実施日を別日に設定
- 第1期は原則「5」のつく日に実施していたが、第2期は曜日を固定して実施
- Cラインについて、矢崎、別北を入れたルートに変更
- 丸島、別北に新たな「のりば」を設定
- 予約人数に応じたサイズの車両を配車(予約が少ない便はセダンタイプの車両に)

以 上